エコアクション 21

環 境 経 営 レ ポ ー ト

2023年度版
2023年 4月1日～2024年 3月31日

有限会社　　肥田建設

２０２４年　７月　５日

環　境　経　営　方　針

Ⅰ　基本理念

有限会社肥田建設は、地域性及び環境への関連を考慮し、建設工事の事業活動において自然環境の保全及び環境負荷の低減・改善に取り組み、地域社会の環境保全活動を行います。

Ⅱ　行動指針

1.　事業活動に当たって環境に配慮し、環境保全活動の推進に努める。

２．関連する法規、条例及びその他の規制を遵守する。

*現在まで、環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は創業以来ありません。

建設業に関する関連法規（一部抜粋）

公害防止組織法、大気汚染防止法、自動車Noｘ、水質汚濁防止法、下水道法、浄化法、土壌汚染対策法、騒音規制法、振動規制法、産業廃棄物処理法、建設リサイクル法他

３．次の項目を当社環境目標として取り組み、継続的な向上に努める。

１）事業活動に使用する化石資源等（ガソリン、電力、ガス）の最小化に努める。

２）可能な限り廃棄物の再生利用を行い、減量化に努めると共に適正な処理を行う。

３）水の使用量の削減を図る。

４）事業活動に使用する資材は、環境に配慮した資材購入に努める。

４．環境意識を高めるため全社員に周知徹底し、環境保全確保に努めると共に、社外にも公表します。

改定日　令和　５年　６月20日
有限会社　肥田建設
代表取締役　　肥田晴久

１．事業概要

（１）事業者名及び代表者

有限会社　　肥田建設

代表取締役　肥田晴久

（２）所在地

富山県射水市池多２５０－１

（３）設　立

１９９０年（平成２年）　６月２９日

（４）事業内容

土木工事業　　とび、土工工事業

鋼構造物工事業　舗装工事業　しゅんせつ工事業

水道施設工事業　石工事業　造園工事業　解体工事

（５）環境管理責任者及び連絡先

氏名　肥田晴久

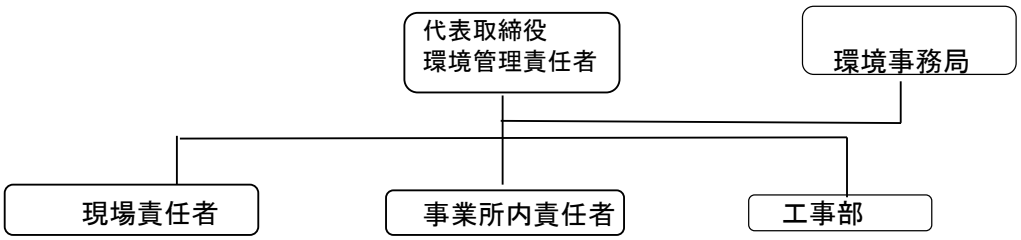
連絡先　ＴＥＬ　０７６６－５６－１８５４

ＦＡＸ　０７６６－５６－９２０１

（６）事業規模

活動規模	単位	2021	2022	2023
売上高	百万円	130	112	83
従業員	人	6	6	7
床面積	m^2	86.15	86.15	86.15

7．．実施体制（組織図と役割）



担当者	役割・責任・権限
代表者(社長)	＊環境経営に関する総括責任 ＊環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能技術者を用意 ＊環境管理責任者を任命 ＊環境方針の策定・見直し及び従業員に周知 ＊環境経営目標・環境経営計画書を承認 ＊代表者による全体の評価と見直しの実施 ＊環境レポートの承認
環境管理責任者	＊環境経営システムの構築・実施・管理(把握) ＊法規制等の要求事項登録簿を承認 ＊環境活動計画の取組結果を代表者に報告 ＊環境レポートの確認
環境事務局	＊環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ＊環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ＊「環境関連法規等のチェックリスト」の作成 ＊環境目標・環境活動実施計画書案の作成 ＊環境活動実施計画書の実施集計 ＊環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ＊環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
現場責任者 事業所内責任者	＊自部門における環境経営システムの実施 ＊自部門における環境方針の周知 ＊自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ＊自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ＊特定された項目の手順書作成及び運用管理 ＊自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練、記録 ＊自部門の問題点の発見、是正、予防処置
従業員	＊環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ＊EA21について決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動に参加

２．環境経営目標とその実績・中期計画

＊電力、化石燃料、水の使用量及び二酸化炭素の排出量については、下記単位とする。

項目	単位	2021年度	2023年度		2024年度	2025年度
		基準年 実績	目標 前年実績維持	実績	目標 98%削減	目標 97%削減
（総エネルギー投入量） 電力	kWh	10,473	3,788	3,670	10,264	10,159
軽油	L	41,320	17,247	22,043	40,494	40,080
ガソリン	L	3,674	5,341	3,247	3,689	3,564
灯油	L	570	361	489	559	553
ガス	m^3	41	38	39	40	40
総エネルギー投入量合計 二酸化炭素排出量	Ｋｇ－CO_2	124,860	60,664	68,277	122,363	121,114
（廃棄物総排出量） 一般廃棄物	kg	32	34	33	31	31
産業廃棄物	t	1,209	1,331	1,288	1,185	1,173
（水資源投入量） 上水道	m^3	53.3	75.0	94	52	52
施工に関するエコ商品		エコ商品購入	エコ商品購入	エコ商品購入	エコ商品購入	エコ商品購入
グリーン購入		随時購入	随時購入	随時購入	随時購入	随時購入

＊エコ商品に関しては発注元へのアドバイスに心がける。

＊廃棄物でできたもの（ＣＯ・ＡＳ）は極力再生化する。

＊グリーン購入に関しては割合を表示する。(購入は少しづつ増やす)

＊電力のＣＯ2排出係数は、0.484(2021年を基準）で計算しています。

＊化学物質は使用していません。

＊近年公共工事の減少に伴い数字が読めない状況が続いている。

３．環境活動計画の内容

（１）電気使用量の削減
①不要な照明、未使用箇所の消灯、節電に心がける。
②室内温度の設定（体調を考慮し無理のない温度設定）（自然風の利用利用の為網戸使用）
③照明器具の見直し（事務所、トイレを人感に替えた）
④気候や、天候に応じ自然光、ブラインドの利用。（窓をに受サッシに替え暑さ寒さの軽減）
⑤冷房温度を上げ扇風機と併用する。（クーラーの点検掃除業者依頼）
⑥断熱、遮熱効果を上げるため事務所の窓を二重サッシに替えた。

（２）車輌燃料使用量の削減
①過積載、アイドリングの防止、法定速度順守(急発進,急停止防止)によるエコドライブに心がける。
（現場へは相乗り行く）
②順次車輌、重機買替え時はガスレベル（規制、騒音）燃費等の低公害車の購入を優先する。
（公共工事には低騒音、低振動に関する規制が施工計画書に記載が義務付け
られ、又、特定自主検査記録表（銃地掴み部分も点検義務）、低騒音、低振動証明書が必須。）
③帰り荷の確保に努力する。（空荷防止）
④車の入替には低燃費の物にする。（出来るものから入れ替えるようにする）

（３）産業廃棄物の適正処理
①産業廃棄物管理表（マニフェスト）をできる業者から電子に替えていってる。
②処理業者との打合せをする。
③廃棄物の中間処理場を定期的に、チェックし搬入状況を写真に残す。
④現場での再生利用を発注者に提案する。（分別の徹底）
⑤過積載防止に努める。（車道に廃棄物を散乱しないよう積み荷の時注意している）
⑥なるべく空荷の無いようにする。

（４）一般廃棄物の削減
①再生紙や使用済み封筒の再利用。（最近はメールなどの量により減少している）
②グリーン商品の購入に心がける。（カタログの利用により）
③一般廃棄物分は別ボックスを接し地域分別回収を利用する。
④プレビュー画面を使用印刷ミスの防止に努める。
⑤分別の徹底

（５）水使用量の削減
①使用時は蛇口の排水量を削減する。(洗濯機の使用時の節水)
②トイレの節水に心がける。

（６）施工に関する項目
①施工に関してエコ商品の使用に努め、発注者にアドバイスするよう心がける。

（７）グリーン購入
①現場での資材及び事務用品について現状維持と共に購入時に出来るだけ環境物品を
選択するように心がける。

（８）環境への配慮
①外部等の苦情は無いが、災害時の汚染防止等については、社内規定の計画書にて実施する。
（社員に対して環境方針を名詞サイズのカードを作成し、携帯を義務付けている。）
②全体的に環境に対する心掛けが身についてきているので持続を心掛けたい。

４．環境活動計画の取組み結果の評価及び次年度の取組

環境活動が終了し、環境管理責任者により代表者が環境への取組結果の評価と次年度の取り組みは下記のとおりである。

取組項目	評価	次年度取組
（二酸化炭素排出量の）削減 電力	＊基準年を2021年に変更した事と、発注の減少により変化の大幅な変動があり大変だ。	＊経済の不安定により受注量の変動が考えられそれに伴い大幅な変動が考えられる。
車輌燃料	＊仕事の発注の減少によりそれに伴い使用量が減少しつつある。	＊仕事の量に応じた使用量になるよう努力をしたい。
灯油、ガス	＊昨今の気候により使用量の変動が左右される。	＊健康を管理しつつ努力したい。
(廃棄物の削減) 産業廃棄物	＊仕事量に応じて左右されるが、常に努力し、再生量に努める。	＊仕事内容に応じて努力を続ける。
リサイクル	＊現場での廃材をなるべく再生する様に発注先にも働きかけるよう努力しています。	＊回収ボックス利用を維持し削減に一層の努力に努める。
一般廃棄物	＊分別ＢＯＸを使用して地域回収を使用するように努力しています。	＊より一層努力を続けたい。
環境活動項目に関する項目	＊環境活動に使用する資材は再生材などのエコ商品を使用する	＊環境活動に使用する資材は引続きエコ商品の使用に努める。
グリーン購入	＊引き続き環境に配慮した製品を購入する。	＊引き続き環境に配慮した製品を購入する。
(排水量の削減)	＊減量に努めた結果が表れている。	＊今後も維持と努力に努める。

◎近年の仕事量の減少より先行きの不安は隠せませんが、今後も維持又は削減に努力して行きます。

５・主な環境関連法規制及び環境関連法規の遵守状況の確認・評価の結果、訴訟の有無

環境関連項目	法規・条例・規制	順守
産業廃棄物の適正処理	廃棄物処理法	○
	建設廃棄物処理指針（平成22年度版）	○
	建設副産物適正処理推進要綱	○
リサイクル推進	リサイクル法	○
	家電リサイクル法	○
	小型家電リサイクル法	○
フロン排出抑制	エアコン・重機エアコンの簡易点検	○
労働安全衛生	労働安全衛生規則	○
水質汚濁防止	下水道法	○
騒音・振動規制	対象特定施設の届出、規制値の遵守	○
排出ガ対策型建設機械普及	排出ガス対策型であることの確認	○
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	○

◎現在まで、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は創業以来ありません。

◎建設業では建設現場の設計図書や特記仕様書等に遵守すべき事項が記載されている為熟知が必須である。

【代表者に寄る全体の評価見直し】

代表者による評価・見直しの記録		検 印	検 印	作 成
見直し実施者	代表取締役社長　　肥田晴久	肥田	肥田幸	村上
見直し実施日	令和6年7月25日			

確 認・評 価 し た 資 料			
文　書	確 認	記　録	確 認
環境方針	✓	環境への負荷の自己チェック	✓
環境目標	✓	環境への取組の自己チェック	✓
環境活動計画	✓	環境関連法規制等の順守状況確認	✓
環境関連法規等のまとめ	✓	外部からの苦情・情報の記録	✓
実施体制	✓	環境上の緊急事態の訓練記録	✓
緊急事態対応手順	✓	環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と結果	✓
環境活動レポート	✓	不適合是正・予防処置報告書	✓

取組状況全体の評価		
システムが有効に運用されているか（要求事項を満足しているか）	(適)	不適
取組が適切に行われているか	(適)	不適

見直しの必要性					
環境方針	あり	(なし)	実施体制	あり	(なし)
環境目標	あり	(なし)	その他	あり	(なし)
環境活動計画	あり	(なし)			

見直し具体的内容
結果については、従業員の増加に伴い一部目標を達成出来なかった項目もあった。次年度の目標
については中期目標を変更せずに再チャレンジを行う様に全従業員に周知した。今後も引き続きＰ
ＤＣＡを継続的に回し改善に取り組んで行きたい。